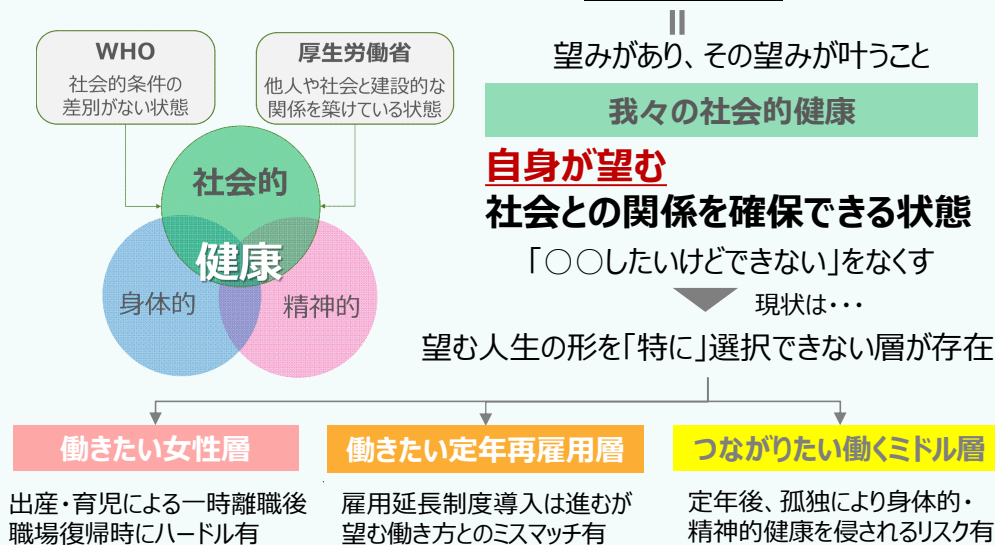


1. 環境認識

- ✓ 出生率低下に伴う人口減少の加速により、労働力人口は40年後に4割減少すると見込まれる
 - ✓ 労働力人口の減少に歯止めをかけることが期待される「女性」や「定年再雇用層」の就労には未だ多くのハードルが存在する
 - ✓ 社会とのつながりの希薄化により孤独・孤立が増加し、身体的・精神的健康が悪化することで社会保障費の増加や消費の滞りなどの影響が生じていく
- 深刻化する社会課題に対し、我々は「**社会的健康**」という切り口から活性化の糸口を模索

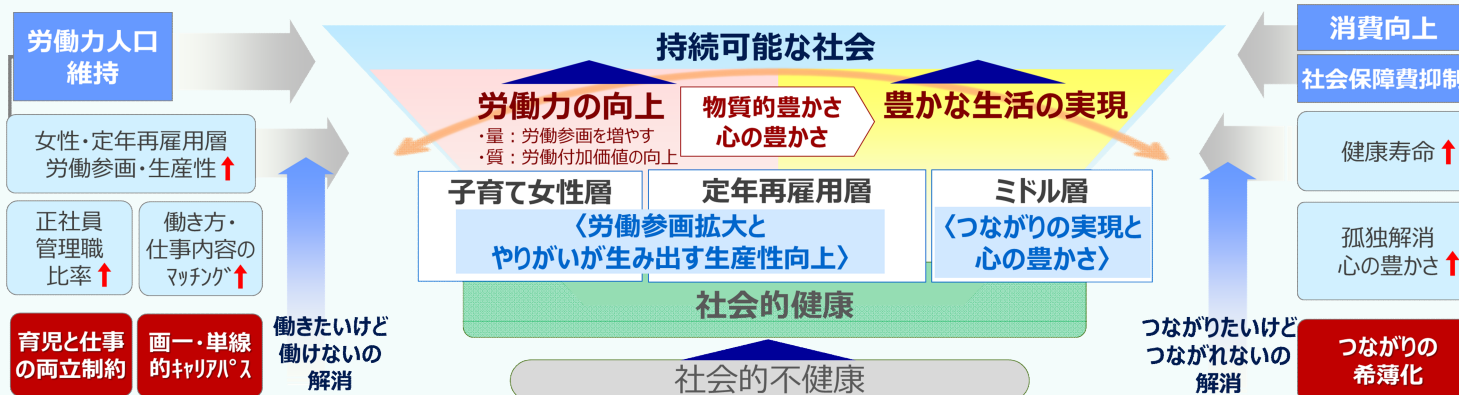
2. 社会的健康への着眼

WHO、厚生労働省の定義よりも、我々は更に **高次元な状態** をめざす



3. 活性化の定義

社会的健康をエレメントに **労働力の向上** と **豊かな生活を実現** し、**持続可能な社会**を切り拓く



4. 施策 社会的健康をエレメントとした労働力の向上・豊かな生活の実現

多様な価値観に目を向けた各種施策を実施し、「〇〇けどできない」というハードルを除去

施策Ⅰ 労働力の向上

育休明け支援

ベビーシッター・プラットフォーム
ベビーシッターの利用を企業側が支援・促進



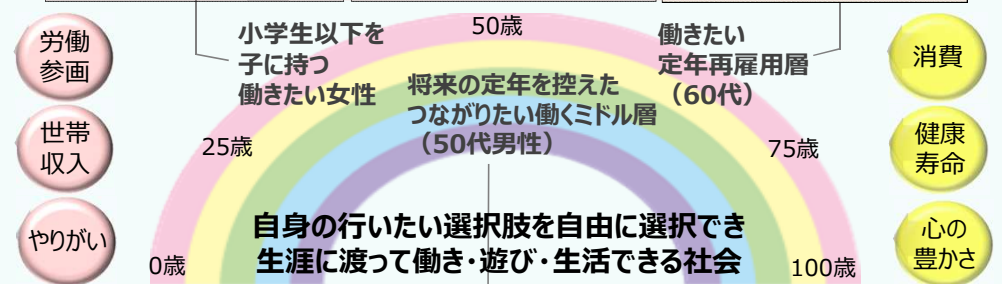
保育・教育支援

近隣学校区域学童運営 + 本格習い事サービス
学童保育と習い事の両立で共働き世帯を支援



多様な機会提供

役職定年以降における人材活用
大企業の元役職者をマッチング



施策Ⅱ 豊かな生活の実現



当事者意識

定期健康診断

問診票
つながりに関する項目追加・数値化

更なる気付きを

意見広告



具体策とフォロー

3つの具体策



5. 目指す未来

社会が個人の背中を押してあげることで、多様な価値観をもった個人が光り輝き「**自己実現**」できる社会

そんな社会は経済にも**良い連鎖**を生み、停滞した日本を活性化させる

社会的健康の向上によって、関西から日本に「**転換期**」をもたらす